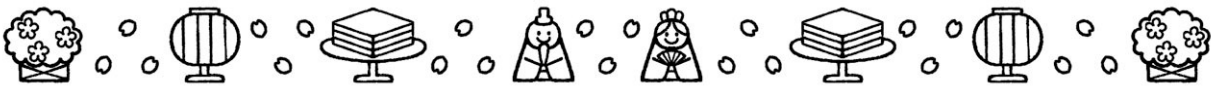


社会福祉法人尚徳福祉会
おぐら保育園
2022年3月発行

いちごぐみだより

朝晩はまだまだ冷えますが、日中は寒さが和らぎ、ポカポカ陽気に春の訪れを感じる頃となりました。
この一年で、心も体も大きく、たくましく成長した子どもたちの姿を頼もしく感じるとともに、可愛らしい子どもたちの成長をそばで見守ることができ、とても嬉しく思います。
笑顔でみかん組にバトンタッチができるように、残りの一か月も感染症予防に努め、元気に楽しく過ごしていきたいと思います。



いないいないばあ

入園当初はお家の方と離れて涙していたお子さんも、今ではお友だちと楽しく、時にはケンカ(?)をしながら元気に過ごしています。あそびの中で、お友だちの真似をしたり、同じものを見たりしながら視線を合わせ、かわいらしく笑い合う姿がたくさん見られるようになりました。

最近のブームは「いないいないばあ」の歌の「ばあ」のフレーズに合わせて、袖の中から手を「パー」と出すあそびです。一人がそのあそびを始めると、あちこちで「ばあ」と「パー」の競演が始まります♪

おひなさま制作

綿棒を5-6本束ねた先に絵の具をつけてスタンプングをしました。制作が大好きな子どもたちは、準備をしている保育者の後ろをついて歩き「今日は何をするのかな?」と興味津々です。

保育者の「トントン」の声かけに合わせて綿棒を上下に動かす子、クレヨンと同じようにおえかきをする子など、思い思いの方法で表現活動を楽しみ、個性溢れる着物の模様ができました。できあがった着物は、4月と最近のお子さんに着せて、飾り難にしました。

子どもたちの笑顔に触れていると、お家での親子の触れ合いの様子が目に浮かんでくるようです。子どもの笑顔には、がんばっているパパやママへの「大好き♡」や「ありがとう♡」がいっぱい詰まっているのでしょうね。仕事をしながらの子育ては、喜びだけではなく、大変なこともたくさんあったと思いますが、保護者のみなさまには保育へのご理解とご協力をいただき、感謝いたします。本当にありがとうございました。担任一同

〇お知らせ〇

- ・異動となりました。1年間子どもたちの成長を見守れたことを嬉しく思います。最後みかんへ見送り出来ないのは寂しいですが、元気いっぱい遊び笑顔で過ごして行ってほしいと思います。至らない点も多々あったと思いますが、1年間ありがとうございました。

